

「平成29年度実践的な手術手技向上研修事業に関する評価報告」

H29年度 CST実施実績（見込み）

講座	テーマ	参加人数	実施日
消化器外科	直腸癌に対する経肛門的アプローチを学ぶ	7	H29.6.14
消化器外科	腹腔鏡下肝切除における肝門部グリソン一括処理の検討	8	H29.8.7
消化器外科	直腸癌に対する経肛門的アプローチを学ぶ	10	H29.9.6
消化器外科	腹腔鏡下肝切除における肝門部グリソン一括処理のトレーニングとレネック被膜の解剖学的検討	8	H29.11.17
消化器外科	腹腔鏡下肝切除における肝門部グリソン一括処理のトレーニングとレネック被膜の解剖学的検討	8	H29.12.27
消化器外科	直腸癌に対するTMEと側方隔性を学ぶ	13	H30.2.3
整形外科	最小侵襲脊椎安定術（MIS手術）のためのチームビルディングセミナー	10	H.29.7.8
整形外科	脊椎MIS Cadaver Seminar -頸椎後方・胸腰椎後方経皮的手術コース-	8	H29.9.9
整形外科	手外科手術の技術向上	30	H29.10.13
整形外科	骨盤および寛骨臼手術の技術向上	38	H29.10.14
整形外科	安全に頸椎手術を行える手技を習得する	15	H29.11.11
整形外科	脊椎Cadaverセミナー（XLIFコース）	8	H29.11.17,18
整形外科	頸椎前方人工椎間板 手術手技セミナー	9	H30.1.20

講座	テーマ	参加人数	実施日
整形外科	脊椎Cadaverセミナー（XLIFコース）	7	H30.2.16,17
整形外科	献体を用いた胸椎XLIF・ACR手術トレーニング	8	H30.3.3
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科における顔面神経診療にかかわる実践的外科手術の研修	11	H.29.8.19
呼吸器外科	胸腔鏡下気管支形成術の糸絡みの少ない、容易な手技の開発、および、肺動脈損傷時の対応技術の取得	8	H29.11.10
呼吸器外科	胸腔鏡下気管支形成術の糸絡みの少ない、容易な手技の開発、および、肺動脈損傷時の対応技術の取得	10	H30.3.23
麻酔科	超音波ガイド下末梢神経ブロックの技術向上	32	H29.11.25
形成外科	顔面骨の骨切り	10	H30.3.31

CST実施件数	20	使用ご遺体数	45
---------	----	--------	----

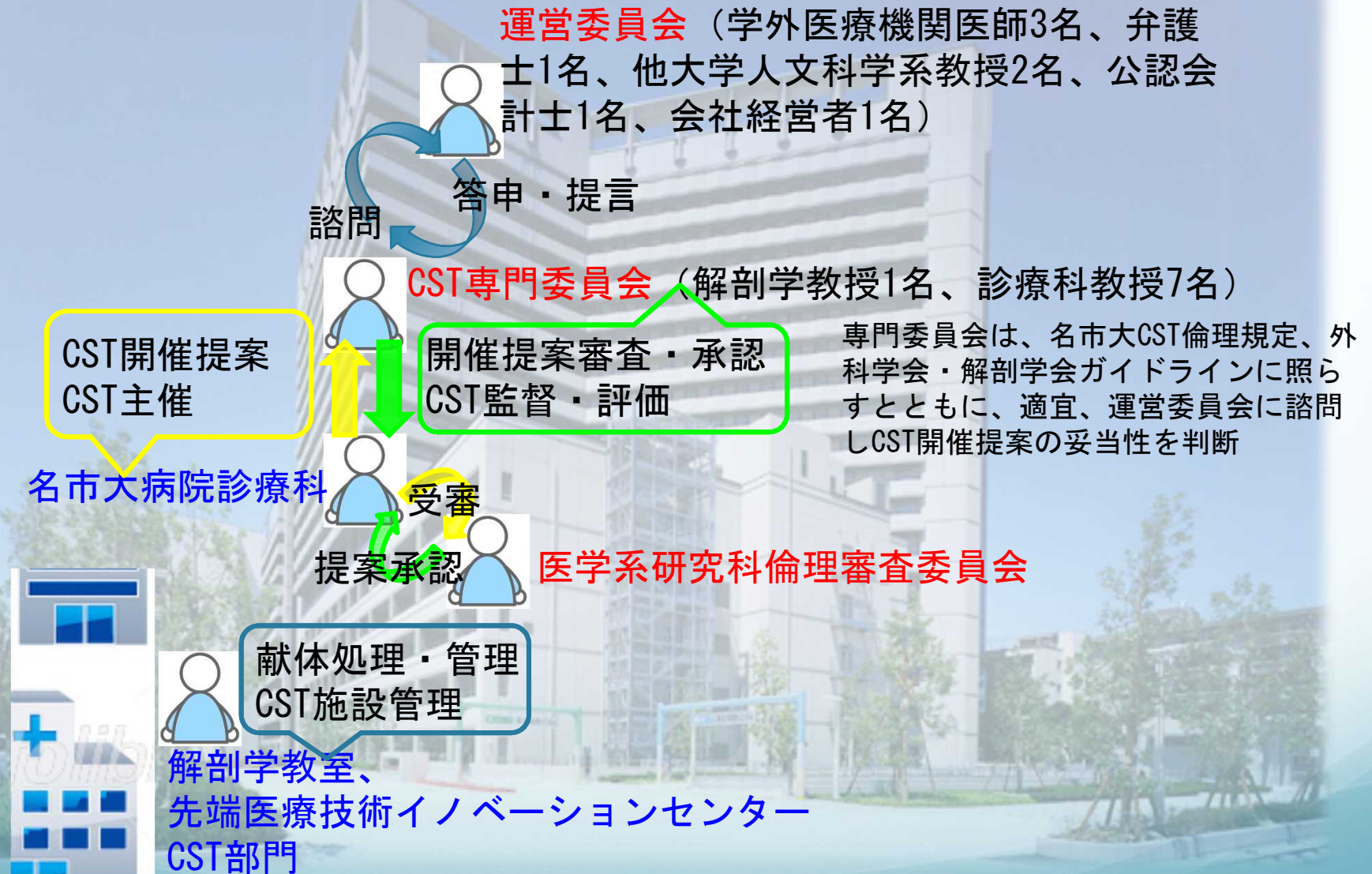
- ご遺体はすべてThiel法により固定
- 受講生を公募し、受講料を徴収
- 内視鏡システム、Cアームなどを備えた全国最大規模の専用施設にて実施



消化器外科CST実施風景
（名市大CST施設）

名古屋市立大学

名古屋市大CST組織の概要説明



(1) これまでの課題と対応

- CST施設の立ち上げのための資金の不足…地域医療機関や地元企業などからの寄附金を募り、相当額を捻出した
- CSTの運用の経費を厚労省からの委託費のみで賄うことは困難…受講者より受講費を徴収することにより、消耗品代などの経費の一部を賄った
- CSTのためのThiel法処理によるご遺体の不足…篤志献体団体（不老会）会員の集いでの講演などのアウトリーチ活動を行い、CSTについての理解を深めるなどした結果、CSTのためのご遺体の使用への同意を会員より得やすくなった

(2) CSTによる効果（下記他の難度の高い手技の習得に役立った）

- 消化器外科…直腸癌に対する経肛門的アプローチ、腹腔鏡下肝切除における肝門部グリソン一括処理など
- 整形外科…骨盤および寛骨臼手術、胸椎XLIF・ACR手術など
- 耳鼻咽喉科…顔面神経診療にかかわる外科手術など
- 呼吸器外科…胸腔鏡下気管支形成術など
- 麻酔科…超音波ガイド下末梢神経ブロックの技術向上など
- 形成外科…顔面骨の骨切りなど

(3) CSTの継続に向けた今後の課題

技術的な課題

- Thiel法処理によるご遺体では脳組織が軟化し、脳外科領域のCSTには不向きである
- 心臓・血管外科領域からのCST提案がこれまでになく、心拍動のないご遺体の当該領域での有用性についてさらに検討する必要がある

経済的な課題

- CSTのための厚労省補助（実践的な手術手技向上研修事業）が単年度予算によっているため、予算の執行が毎年夏以降となり、技術補助員の継続的な雇用などに支障が生じている…複数年度に亘る予算を措置すべき
- CST施設、備品などの維持、更新に掛かる経費の財源確保が困難である

運営上の課題

- 解剖学教室の負担が過剰である…CSTの受講料の徴収や運営などに際し、NPOやコンベンション会社を活用することで、解剖学教室の負担を軽減するなどの対策を講じる必要がある
- 歯科領域でのCSTの実績が僅少であり、医歯連携を図るべき…名古屋市大ではH30.6に口腔外科学会との共催でCSTを実施予定